

多摩都市構想研究会部会長会議 議事録

日 時) 2020年10月7日 午後5時半～6時半 lineビデオによる会議

出席者) 櫻井顧問、古川会長、渋井副会長、石渡部会長、和気部会長、
堀部会幹事、林部会幹事、飯田理事、菊地事務局長

書面評決総会以降、初の会合として部会長会議を開催し、今年度の研究会活動について検討した。

1 ご挨拶 櫻井顧問、古川会長

古川会長からは、仕事の都合で部会長を交代するが、活動については極力参加していきたいとの話があった。

櫻井顧問からは、コロナ等の状況の変化を踏まえながら課題に取り組んでいくとの話があった。

2 新部会長挨拶 先端産業部会 和気仁志先生

和気仁志氏が先端産業部会の新部会長に選任され、ご挨拶があった。

3 今後の運営について

1) 理事会及び総会について 事務局報告

ア 本年度の理事会及び総会は、書面評決により開催され、前年度の事業報告、決算及び新年度の事業計画及び予算が承認された。また、役員改選の時期であるが、特例として役員の任期を一年更新した。

イ 例年の例にならい2021年3月に理事会及び総会を開催する。開催方法は年明けのコロナの状況をみて検討する。

2) 部会の開催について

両部会長から昨年の開催状況と今後の方向について

① 都市づくり部会 石渡部会長

昨年は、奥多摩町の人口減少問題や林業などの産業について現地視察し、町の担当者から説明を受けた。奥多摩町は国内生態系の7割を有する点も興味深い。この視察で現地調査の大切さを実感した。

② 先端産業部会 和気部会長

昨年は、グローバルな産業連携について検討してきた。今年はコロナ禍にあり、大きな動きはできない。しかし、逆にテレワークやワーケー

ションといった新たな仕事の仕方やそれに伴う人材活用などが起こっている。大変絶に深い内容であり、部会で検討していきたい。

(飯田理事) 東洋システムでも、長野でワーケーションを開始した。事務所経費の節減や人材活用の新たな可能性が出てきている。

4 セミナーの開催について

1) 開催の是非

コロナ禍の下ではあるが、感染予防対策を取りながら開催する。少人数で集まりズームやラインなどのオンライン参加などにより開催する。

2) 内容

① 昨年の部会開催報告

- ・インドと多摩の産業交流
- ・奥多摩地域の課題と展望
- ・その他

② 外部講師

等

5 今年度の部会開催（各部会開催 10～11月）

ビデオ開催など、今後、両部会長及び幹事、事務局を中心に検討する。

6 総会 2021年3月に開催する。

7 観察 2020年12月～2021年2月に実施する。

今後、両部会長及び幹事、事務局を中心に検討する。

8 渋井副会長

コロナ禍で会議の開催や活動に制約があるが、感染防止の手立てをとりながら、活動を進めていきたい。

以上

議事録作成

令和2年10月10日 事務局長 菊地 輝雄